

報道関係者各位

令和7年10月31日

舞鶴高専プログラマーズコミュニティクラブの学生が作成協力 「#みんなでつくる舞鶴2040」特設サイトの開設について

現行の第7次舞鶴市総合計画は2027年に終わりを迎え、次期総合計画策定を進める中、その一環で、2040年の舞鶴をみんなで考える「#みんなでつくる舞鶴2040」プロジェクトをスタートさせました。

「#みんなでつくる舞鶴2040」プロジェクトでは、現在、「#みんなでつくる舞鶴（意見募集）」を実施しており、11月からは「2040年に残したい舞鶴フォトライブラリー（写真募集）」を実施しますが、今般、舞鶴高専の学生等と連携し、市民等から投稿された意見や写真を市民みんなで共有する特設サイトを開設しましたので、お知らせいたします。

1. 「#みんなでつくる舞鶴2040」特設サイト

<https://maizuru2040.jp/wordpress/>

(1) 目的

「#みんなでつくる舞鶴2040」プロジェクトで実施する「#みんなでつくる舞鶴（意見募集）」や「2040年に残したい舞鶴フォトライブラリー（写真募集）」への投稿を市民に共有する。



(2) 内容

- ・「#みんなでつくる舞鶴（意見募集）」の投稿・回答結果
※回答結果は広聴AI（<https://dd2030.org/kouchou-ai>）を活用
- ・「2040年に残したい舞鶴フォトライブラリー（写真募集）」の投稿・投稿写真掲載
※現在作成中

(3) 作成協力者

- ・舞鶴工業高等専門学校 プログラマーズコミュニティクラブの学生等（右写真）



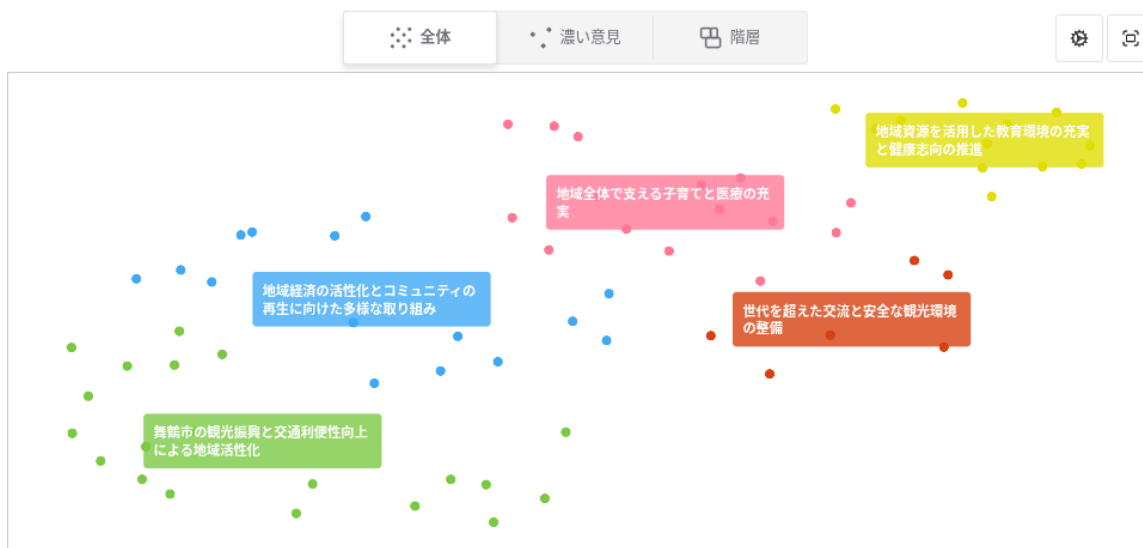
(4) 備考

- ・特設サイトのインターフェースや機能などは随時更新していきます。
- ・「#みんなでつくる舞鶴2040」プロジェクトについては、以下URLをご参照ください。
<https://www.city.maizuru.kyoto.jp/shisei/0000014341.html>
- ・次期総合計画の策定については、以下URLをご参照ください。
<https://www.city.maizuru.kyoto.jp/shisei/0000013931.html>
- ・特設サイトの切り抜き画像掲載（下写真）。

②自分が市長なら、2040年に向けてこんな課題に取り組む【10/28 12:00更新】

📌 70件

舞鶴市では観光振興と交通利便性の向上を通じて地域活性化を目指しており、公共交通の充実や子育て支援が重要視されています。また、地域経済の活性化には商業施設の誘致やコミュニティの再生が求められ、子育てと医療の充実も必要とされています。教育環境の向上や世代間交流の促進、安全な観光環境の整備も重要な課題として挙げられています。これらの取り組みにより、舞鶴市の持続可能な発展が期待されています。



舞鶴市の観光振興と交通利便性向上による地域活性化

📌 20件

舞鶴市の観光業を赤レンガや地域資源を活用して振興し、観光客の増加を目指すとともに、交通インフラの充実を図ることで、地域全体の活性化を促進することが求められています。具体的には、公共交通機関の本数を増やし、通勤者の利便性を向上させる施策や、地域の魅力を引き出すための子育て支援の強化が重要視されています。これにより、舞鶴市が住み続けたいと思える地域となり、人口増加や地域発展が期待されています。